

事業所名	グループホーム 昴会			
開催日時	令和8年6月19日(木)15:00～17:00			
開催場所	ヒルホテルサンピア伊賀 3 階上野の間			
出席者	構成員	人数		備考
	事業所職員	2	名	理事長・管理者
	入居者	0	名	
	入居者ご家族	1	名	
	地域の関係者	1	名	久米地区在住、元民生委員
	福祉に知見を有する方	1	名	福祉サービス事業所代表
	経営に知見を有する方	1	名	行政書士
	市町村担当職員	2	名	
議題	1. 開会の挨拶 2. 出席者紹介 3. グループホーム 昴会の現状 グループホームの利用状況 平成7年度グループホームの事業報告・決算 新グループホームの開設スケジュール 利用者の権利擁護に関する各種報告 4. 意見交換 5. 閉会の挨拶			
協議内容・意見等	1. 開会の挨拶 2. 出席者紹介 利用者代表は今回の案件の中に重大な事故報告があるため、利用者への影響を考慮して欠席とした。 3. グループホーム 昴会の現状 グループホームの利用状況 令和8年6月現在定員73名のところ66名の利用。 令和7年度グループホーム事業報告・決算の報告 令和7年度第1回評議員会事業報告・決算書類により説明 利用者の権利擁護に関する各種報告 令和7年度第1回評議員会定期報告事項より説明 4. 意見交換 (事務局)3件の事故報告はそれぞれ重大な事故でありに度と同じことが起きないように再発防止に努めないとならないが、深夜に入浴した利用者が心臓麻痺でなくなったケースに関しては、現在のグループホームの体制では完全に防ぐことができない状況であるため、委員の皆様からのご意見を伺いたい。 (福祉委員) 浴室やトイレに非常ボタンを設置して、遠隔でも対応できるようにする。 (経営委員) 今回のケースでは年末に実施した健康診断では異常が見られなかったが、異常が見られた利用者には、医師の診断を受け適切な治療をするように努める。また、家族にも事前に病状等に関して説明することも必要である。 (事務局) 事故以来そのGHは、世話人のいない時間は浴室に入れないように鍵をかけるようにしたが、利用者の安全と生活上の自由とのバランス上、過度の制限や監視は個人の自由性を拘束しプライバシーを侵害することになるため、転倒の恐れがある利用者や発作等による緊急な対応が予想される利用者に関しては、事前に入院してもらうようにしているが、場合によっては現在の体制では安全に暮らしてもらうことができないため、24時間体制で見守りができる日中支援型のGHへの転居を余儀なくされるケースも出ている。 (事務局) 今回のケースは、生活保護受給者ではなく、身寄りがいない方であったため、死亡事務を裁判所に申し立てて清算人による処理が必要となっている。現在当会の利用者は、身寄りのない方は数人いるが、すべて生活保護を受給しているため当面は大丈夫であるが、自立度が高まって生活保護が切れることがあるため、あらかじめ後見人をつけることが必要である。 (行政委員) 今後精神科病院からの退院者や親亡き後の問題により、グループホームの存在はますます重要となってくる。四日市には医療的ケアが必要な方を受け入れるGHができています。伊賀昴会も、医療的ケア対応のGHにレベルアップしてもらえたらと思う。 5. 閉会の挨拶			